

教育民生常任委員会 所管事務調査 報告書

1 開催日時

令和7年10月16日（木曜日）午前10時00分～午前11時30分

（令和7年10月14日～10月16日）

2 開催場所

埼玉県さいたま市：さいたま市立大宮国際中等教育学校

3 出席委員（6名）

委員長 浅野直子 副委員長 伊藤嘉樹

委員 小松大介 委員 荒谷敏

委員 出川博一 委員 村上治

4 欠席委員（なし）

5 説明のため出席した者（4名）

さいたま市立大宮国際中等教育学校 校長 根岸君和

さいたま市立大宮国際中等教育学校 副校長 難波孝史

さいたま市教育委員会 学校教育部 高校教育課 参事兼課長 大原照光

さいたま市教育委員会 学校教育部 高校教育課 主席指導主事 加藤英教

6 事務局職員出席者（1名）

副参事 相澤美和

7 調査事項

中高一貫校 さいたま市立大宮国際中等教育学校について

8 調査報告

国際バカロレア認定校教育と日本の学習指導要綱に沿ったプログラムは、スローガンとなっている教育者の使命の根幹に「よりよい世界を築くことに貢献する地球人の育成」と伺いました。

高校受験の無い中等教育学校として6年間を学び、国際的な視野に立ち多様性を理解し、探求し続ける力を養います。我々が視察中に投げかけた質問に自分の意思をはっきり答えられる生徒の姿や、この学校で学びたいと大きな志で世界を見据えた作業内容などに感銘しました。また、校内にいたるところにコミュニケーションプレイスがあり、生徒間や先生との連携に大いに貢献されています。

学校は今回初めて卒業生を送り出し、実績の評価もおこなっておりました。

グローバル社会と言われている中、グローバル社会を生き抜く人材の育成がこの学校にありました。さらには、教育ICT先進校として認定されている全国5校の中に入っている状況に、テクノロジーを活かし未来を創る一人としての探求心の育みは、将に人間教育の現場を見た感じでした。

多様な時代を生き抜く子どもたちへ知つてもらいたい学校です。学校教育委員会等の視察でも推薦したいと思います。

以上

令和7年12月2日

委員長 浅野直子
